

- 一 一ヶ年来未滿ハ日給三千六日分
- 一 特別手当 各日給十五日分（年来ニ付特別支給）
- 一 職工仕長ニハ右ノ外 十五日宛（役付手当）
- 一 令任長ニハ右ノ外 十日宛（一）
- 一 解雇手当 最低三十二日 最高二百七十日分
- 一 手當金総額 最低七十系 最高八百三十系

（解雇後工）

組長五、任長四五、平後工二一六、計二六六名

（十一月二十二日）

前記書留郵便ヲ接受シ職工等ハ孰レモ意外ノ感ニ打
 シレ且書留ヲ以テ解雇通知ヲ為セルハ卑劣ニシテ誠意ナキ證
 ナリトシ而テ解雇者ノ多クハ組合員ナル關係上令社ハ組合員排斥
 ノ目的ニ出テタルモノナリトテ非常ニ激昂シ造船工組合幹部者藤
 健一、安田繁三等ハ二十二日夜組合事務所ニ令社ニ善後
 策ヲ凝議セリ

斎藤、安田等ハ令回解雇手当ヲ全部返却シ新ニ手当
 増額ヲ要求スベシト主張シタルモ意見又々ニシテ決定ヲ見ルニ
 至ラズ結局二十三日令社大層ヲ開キ會員ノ意見ヲ徴シ態
 度ヲ決スルコトナレリ

之ヲ先ニ斎藤健一、大熊社三郎兩名ハ早クモ令社側ニ考
 記討画アルヲ感書シ廿二日午後九時半工場ヲ退場シ座ニ上
 5